

市民協働・環境部の目標（平成24年度）

【部の経営理念】

「市民とともに作るコミュニティのまち宗像」と「快適な生活環境・緑豊かな自然環境の保全」を基本理念に、

- ◆市民の主体的な取り組みによる「協働のまちづくり」、「文化芸術活動」、「スポーツ活動」の環境整備の推進。
- ◆市民との協働で宗像遺産を後世に継承する取り組みの推進。
- ◆市民一人ひとりの人権意識の高揚、男女共同参画の精神が確立された社会の実現。
- ◆市民との協働で良好な生活環境づくりと自然環境の保全の推進。

【部の重点目標】

24年度に取り組む重点目標	左記の具体的な内容	関連施策		
		部	章	節
協働の基盤づくりの推進	コミュニティ施策の検証結果を反映させ、市民が主体的に協働のまちづくりに取り組むための環境を整える。より多くの市民の参画や中間支援組織との連携により、市民と行政が公共の課題を共に解決しながら協働のまちづくりを推進する。 人権啓発活動の実施や人権相談を定期的に行うとともに、第2次男女共同参画プランを計画的に推進する。	1	1	1
		1	1	2
		1	1	3
文化芸術・スポーツの振興と歴史文化の継承	文化芸術まちづくりビジョンの重点プロジェクト事業を展開するとともに、拠点施設である宗像ユリックスのセンター機能を高める。トップスポーツ観戦の市民への提供、スポーツボランティアの育成を図る。ヨットレース等海浜イベントを開催し、海洋性スポーツ普及の拠点施設整備を福津市と進める。 郷土文化学習施設で、世界遺産のガイダンスや重要文化財等の特別展、体験型プログラムを展開する。また、世界遺産における構成資産の保存管理計画の策定、田熊石畑遺跡の整備、桜京古墳整備の基本設計を行う。	1	2	2
		1	3	1
		1	3	2
環境面における協働・共生のまちづくりの推進	環境基本計画に基づき、各環境関連事業を市民・環境団体・コミュニティ運営協議会・関係機関などと連携し、協働・共生のまちづくりを推進する。地球温暖化対策は、地球温暖化対策実行計画に基づき推進する。また、老朽化が進んでいる「浄楽苑宗像斎場」は増改築工事に着手する。	4	1	1
		4	2	1
		4	4	1
		4	4	2

【部の経営資源】

職員数	部長1人 コミュニティ課9人 市民活動推進課6人 郷土文化学習交流課11人 市民活動交流室6人 人権対策課5人 男女共同参画推進課7人 自然環境課7人 生活環境課16人 市民協働・環境部職員68人 (うち非常勤嘱託職員・非常勤任用職員・再任用職員・任期付職員(常勤・短時間)15人) 職員比率(正規職員) 12.6%(市民協働・環境部53人／市職員419人)
予算規模 (平成24年度)	・ 一般会計 5,227,315千円 ・ 住宅新築資金等貸付事業特別会計 14,190千円

【各施策の推進目標】

総合計画 体系 (後期)	部	1	市民活動の推進						
	章	1	協働のための基盤づくり						
	節	1	コミュニティ活動・市民活動の推進						
	将来像		市民が主体的にまちづくりに取り組んでいます						
推進 目標	・コミュニティ施策検証審議会の検証結果を踏まえ、コミュニティ運営協議会の活性化や組織強化に繋げる。 ・コミュニティ活動・市民活動の活性化を図るため、コミュニティ運営協議会と市民活動団体との連携事業が実施できるよう、中間支援組織と連携して取り組む。 ・協働のまちづくりを推進するため、市民活動を担う人材を育成するとともに、団体への財政的な支援を行う。また、市民サービスの市民活動団体などへの協働委託を進める。								
指標	指標名(単位)		H23	H24	H25	H26	主な 事業	事業名	予算額
	最近一年間に市民活動やボランティア活動に参加した市民の割合(%)		40.9	42.6	44.3	46.0		コミュニティ活動推進事業費(2-1-14)	114,192千円
	協働が可能な事業の協働実施割合(%)		9.0	9.5	10.0	10.5		コミュニティ・センター整備事業費(2-1-14)	415,910千円
								まちづくり交付金事業費(2-1-14)	149,332千円
								人づくりでまちづくり事業費(2-1-9)	8,000千円
								市民活動交流館管理運営費(10-5-1)	85,871千円
総合計画 体系 (後期)	部	1	市民活動の推進						
	章	1	協働のための基盤づくり						
	節	2	市民との情報の共有						
	将来像		市民と行政が情報を共有し、市民がまちづくりに参加しています						
推進 目標	・市民活動への市民の参加を促進するため、各種団体や行政の情報を集約し、その情報を市民活動交流館のホームページや情報紙などで発信していく。 ・計画や条例の策定過程に市民意見を反映させるため、より多くの市民から意見が提出されるよう、パブリックコメントを実施する。								
指標	指標名(単位)		H23	H24	H25	H26	主な 事業	事業名	予算額
	市から必要な情報が提供されていると思う市民の割合(%)		32.1	33.2	34.4	35.5			
	地域の実情を市が把握していると思う市民の割合(%)		11.7	12.4	13.2	14.0			
	最近一年間に条例に基づく市民参画手続きに参加したことのある市民の割合(%)		7.3	7.9	8.4	9.0			

【市民協働・環境部】

総合計画 体系 (後期)	部	1	市民活動の推進						
	章	1	協働のための基盤づくり						
	節	3	人権尊重・男女共同参画の推進						
	将来像		お互いを尊重して、みんなが幸せに生活しています						
推進 目標	・人権尊重のために、人権講演会の開催やコミュニティまつりで啓発活動を行う。 ・あらゆる人権に対応するため、小中学校での人権教室を強化・充実し、人権擁護委員との連携による特設人権相談を定期的に開催する。 ・男女共同参画に対する市民意識向上のため、男女共同参画推進センターを拠点として啓発事業を行う。女性の就労支援のためのチャレンジ支援事業、悩みや不安を解消するための相談事業の充実を図る。第2次男女共同参画プランを計画的に推進するため、適切な進行管理・評価を行う。								
指標	指標名(単位)		H23	H24	H25	H26	主な 事業	事業名	予算額
	人権尊重意識を持って生活している市民の割合(%)		94.6	95.2	95.8	96.5		人権教育啓発費(3-1-7)	10,543千円
	男女共同参画の意識を持って生活している市民の割合(%)		45.0	46.1	47.3	48.5		男女共同参画推進センター事業費(2-1-13)	7,630千円
	最近一年間に差別を受けたと感じたことのある市民の割合(%)		9.3	8.5	7.8	7.0			
総合計画 体系 (後期)	部	1	市民活動の推進						
	章	2	生涯学習の推進						
	節	1	多様な学習機会の創出						
	将来像		学びたいときに学べ、学んだことを活かせるまち						
推進 目標	・趣味や教養、技術習得の範囲にとどまらず、保健福祉や子育て、環境などの様々な分野で市民ニーズに基づく学習機会を創出するため、各種講座に新たなメニューを取り入れる。また、市民が自発的に学んだ成果を広くまちづくりに生かすことができるよう活動の場を提供していく。 ・市民活動の視点で生涯学習を捉え、生涯学習推進プランを見直す。								
指標			H23	H24	H25	H26	主な 事業	事業名	予算額
	最近一年間に生涯学習活動を行った市民の割合(%)		38.6	39.7	40.9	42.0			
	生涯学習で学んだことを地域のために活かしている市民の割合(%)		36.0	37.1	38.3	39.5			
総合計画 体系 (後期)	部	1	市民活動の推進						
	章	2	生涯学習の推進						
	節	2	生涯スポーツ活動の推進						
	将来像		スポーツをする人がいて、みる人がいて、支える人がいます						
推進 目標	・市民がスポーツを「する」だけでなく、「支え」、「観て」楽しむことができる環境づくりを進めるため、実業団女子駅伝西日本大会やラグビートップリーグの地元開催を支援する。また、企業スポーツが持つ人材、設備、ノウハウを市民スポーツ活動に取り入れていくための取り組みを推進する。 ・海洋性スポーツを普及するため、ヨットレースやビーチフットボール大会を開催するとともに、福津市と今後の活動に必要な拠点施設整備を進める。 ・より身近なところで気軽にスポーツ活動が行える環境を創出するため、新たな総合型地域スポーツクラブの設立を進める。								
指標	指標名(単位)		H23	H24	H25	H26	主な 事業	事業名	予算額
	最近一年間にスポーツ活動を行った市民の割合(%)		72.0	73.7	75.3	77.0		市民体育事業費(10-6-1)	22,403千円
								体育施設改修事業費(10-6-2)	56,000千円

【市民協働・環境部】

総合計画 体系 (後期)	部	1	市民活動の推進						
	章	3	文化の創造						
	節	1	歴史文化の継承						
	将来像		歴史・文化遺産を未来へと引き継ぐまち						
推進 目標	・世界遺産登録への推進のため、ユネスコ世界遺産委員会への推薦書作成準備と構成資産の保存管理計画の策定、市民組織と協働しての啓発イベントを開催する。 ・歴史文化の理解や愛着を深めるため、郷土文化学習交流施設を開館し、世界遺産のガイダンスや重要文化財をはじめとした展示、沖ノ島シアター、体験学習、体験型プログラムなどを展開する。 ・歴史文化遺産の未来への継承のため、国史跡田熊石畑遺跡の整備基本設計、桜京古墳の整備基本計画を市民協働で策定する。								
指標	指標名(単位)		H23	H24	H25	H26	主な 事業	事業名	予算額
	地域の歴史に誇りや愛着を持つ市民の割合(%)		52.5	53.6	54.8	56.0		海の道むなかた館管理運営費(10-5-4)	54,313千円
	重要な歴史遺産が適切に保存されていると感じる市民の割合(%)		37.1	38.3	39.4	40.5		田熊石畑遺跡整備事業費(10-5-4)	156,049千円
								桜京古墳整備事業費(10-5-4)	4,765千円
総合計画 体系 (後期)	部	1	市民活動の推進						
	章	3	文化の創造						
	節	2	市民文化の創造						
	将来像		子どものころから、文化・芸術に親しみ、活発に文化活動が行なわれています						
推進 目標	・青少年をはじめとする多くの市民の文化芸術活動の支援や機会を創出するため、伝統文化次世代継承事業や「大さなくすの木の下で美術館」事業を継続するとともに、むなかた文化芸術のまちづくり10年ビジョンによる重点プロジェクト事業を展開する。 ・文化芸術活動の拠点である宗像ユリックスのセンター機能をより強化するため、総合公園管理公社が公益法人へ移行するための作業を進める。 ・民間レベルでの国際交流活動の充実・発展のため、国際交流団体同士の連携の促進や事業の実施を支援する。								
指標	指標名(単位)		H23	H24	H25	H26	主な 事業	事業名	予算額
	最近一年間で、文化活動を行ったことのある市民の割合(%)		37.6	39.0	40.5	42.0		宗像ユリックス管理運営費(2-1-11)	504,726千円
総合計画 体系 (後期)	部	4	快適生活環境の充実						
	章	1	循環型社会の確立						
	節	1	ごみの適正処理とリサイクル						
	将来像		循環型社会が推進され、適正なごみ処理が行われています						
推進 目標	・「一般廃棄物(ごみ)処理基本計画」に基づき、市民、事業者、行政がそれぞれの役割分担のもと、ごみ減量とリサイクル推進の目標達成に向けた取り組みを協働・連携して取り組む。 ・不法投棄防止と清潔で快適なまちづくりのため、ごみを捨てさせない環境づくりを市民と協働で推進する。								
指標	指標名(単位)		H23	H24	H25	H26	主な 事業	事業名	予算額
	市民1日1人当たりごみ排出量(g)		896.9	872.5	849.8	828.6		塵芥処理事業費(4-2-2)	335,149千円
	リサイクル率(%)		34.2	34.8	35.3	35.9		玄界環境組合負担金(4-2-2)	1,768,199千円

【市民協働・環境部】

総合計画 体系 (後期)	部	4	快適生活環境の充実						
	章	2	生活環境の保護						
	節	1	環境衛生の向上						
	将来像		公害がなく、快適な生活ができるまち						
推進 目標	・典型7公害に対し関係機関と連携して対処していくとともに、光化学オキシダントなど新たな対応が求められている課題に対して、状況把握や情報提供に努める。 ・野外焼却や、空き宅地の雑草繁茂、犬猫のフン害などの対策は、関係機関や地域の協力を得ながら、指導や啓発を図る。 ・老朽化が進む「浄楽苑宗像斎場」の増改築工事に着手し、平成26年度のリニューアルオープンを目指す。								
指標	指標名(単位)		H23	H24	H25	H26	主な 事業	事業名	予算額
	騒音や異臭で不快な思いをすることが多い市民の割合(%)		18.8	17.5	16.2	15.0		火葬場施設整備事業費(4-1-4)	779,499千円
	ポイ捨てごみとペットのフンが多いと思う市民の割合(%)		60.1	58.9	57.7	56.5			

総合計画 体系 (後期)	部	4	快適生活環境の充実						
	章	3	上下水道事業の確立						
	節	2	汚水の適正処理						
	将来像		生活排水を適正に処理し、水環境が保全されています						
推進 目標	・生活排水の水質向上のため、合併処理浄化槽の維持管理に対し補助金を交付する。								
指標	指標名(単位)		H23	H24	H25	H26	主な 事業	事業名	予算額
	汚水衛生処理率(%)		98.2	98.6	98.8	98.9		宗像地区事務組合負担金(衛生費)(4-2-3)	20,000千円

総合計画 体系 (後期)	部	4	快適生活環境の充実						
	章	4	自然との共生						
	節	1	水辺の美しいまち						
	将来像		美しい水辺が守られています						
推進 目標	・市民や企業との協働により、釣川、海岸、さつき松原など自然環境の保全に取り組む。また、良好な水環境の保全意識を高めるため、ホタルに関する情報を発信する。 ・さつき松原の環境保全のため、国と連携し松くい虫防除を行うとともに、アダプト制度による市民参加型の清掃活動や松の植林活動を推進する。								
指標	指標名(単位)		H23	H24	H25	H26	主な 事業	事業名	予算額
	河川BOD濃度(mg/L)		3.0以下	3.0以下	3.0以下	3.0以下		釣川と森林保全事業費(8-2-1)	15,819千円
	河川や海岸にごみがなく、きれいだと感じる市民の割合(%)		15.5	17.1	18.8	20.5			

【市民協働・環境部】

総合計画 体系 (後期)	部	4	快適生活環境の充実						
	章	4	自然との共生						
	節	2	環境にやさしいまち						
	将来像		緑があふれ、市民が地球環境に優しい生活を心がけています						
推進 目標	・環境にやさしい生活や環境活動の活性化を図るため、環境講座やイベントなどを開催する。また、低炭素なまちづくりを目指すため、地球温暖化対策実行計画(区域施策編)を推進する。 ・絶滅危惧種の市の花カノコユリについて、市民協働による保存・繁殖活動に取り組む。 ・森林の再生・保存のため、福岡県森林環境税を活用し、荒廃した森林の間伐、広葉樹の植林などに取り組む。また、放置竹林等による里山の荒廃を抑止するため、竹の伐採や伐採後の広葉樹の植樹などを行う。								
指標	指標名(単位)		H23	H24	H25	H26	主 な 事 業	事業名	予算額
	緑豊かであると感じている市民の割合(%)		73.3	74.3	75.4	76.5		環境基本計画推進事業費(4-1-4)	29,808千円
	地球環境に優しい生活を送っている市民の割合(%)		85.0	86.0	87.0	88.0			

総合計画 体系 (後期)	部	4	快適生活環境の充実						
	章	5	安心できる市民生活の確立						
	節	2	防犯対策の強化						
	将来像		犯罪のないまち						
推進 目標	・犯罪の発生しにくい環境づくりを推進するため、各地区コミュニティ運営協議会の青色パトロール車地域見回り活動の実施を支援する。								
指標	指標名(単位)		H23	H24	H25	H26	主 な 事 業	事業名	予算額
	刑法犯認知件数(件)		1,020	1,000	980	960			
	防犯意識を持っている市民の割合(%)		43.0	44.1	45.3	46.5			